

社会資本総合整備計画 事後評価書															
計画の名称	朝倉市の快適な生活環境の整備（防災・安全）														
計画の期間	平成31年度 ～ 令和05年度（5年間）										重点配分対象の該当				
交付対象	朝倉市														
計画の目標	下水道の改築及び整備促進により、生活環境及び公共用水域の水質保全、浸水対策を図り、安全で安心して暮らせる生活環境を確保する。														
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		616	A	616	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H31当初)		(R5末)
1	・下水道施設の改築工事実施率を0.0%（H31当初）から28.2%（R5末）に向上させる。			
	改築工事実施率	0%	%	28%
	改築工事実施施設数（箇所）/改築工事を実施すべき施設数（箇所）			
2	・下水道施設の耐震補強工事実施率を0.0%（H31当初）から100.0%（R5末）に向上させる。			
	耐震補強工事実施率	0%	%	100%
	耐震補強工事実施施設数（箇所）/耐震補強工事をするべき施設数（箇所）			
3	・下水道管渠の管口カメラ調査実施率を0.0%（H31当初）から43.9%（R5末）に向上させる。			
	管口カメラ調査実施率	0%	%	44%
	管口カメラ調査実施施設数（箇所）/管口カメラ調査を実施すべき施設数（箇所）			
4	・下水道による都市浸水対策の達成率を29.4%（H31当初）から29.6%（R5末）に向上させる。			
	下水道による都市浸水対策達成率	29%	%	30%
	浸水対策完了済み区域の面積（ha）/浸水対策を実施すべき区域の面積（ha）			
5	・下水道施設更新工事実施率を0.0%（H31当初）から100.0%（R5末）に向上させる。			
	更新工事実施率	0%	%	100%
	更新工事実施施設数（箇所）/更新を実施すべき施設数（箇所）			

備考等	個別施設計画を含む	☐	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	朝倉市	直接	朝倉市	終末処 理場	改築	朝倉中央浄化センター改 築	施設設備改築	朝倉市	■	■	■	■	■	407		策定済	
		ストックマネジメント																		
	A07-002	下水道	一般	朝倉市	直接	朝倉市	終末処 理場	改築	朝倉中央浄化センター耐 震補強	管理汚泥棟耐震補強	朝倉市	■	■	■	■	■	20		—	
	A07-003	下水道	一般	朝倉市	直接	朝倉市	管渠（ 污水）	改築	管口カメラ調査	管口カメラ調査	朝倉市		■	■	■	■	30		策定済	
		ストックマネジメント																		
	A07-004	下水道	一般	朝倉市	直接	朝倉市	管渠（ 雨水）	新設	川端排水区雨水枝線整備	雨水枝線 A=2.0ha	朝倉市						■	5		—
	A07-005	下水道	一般	朝倉市	直接	朝倉市	管渠（ 污水）	新設	マンホールポンプ更新	マンホールポンプ更新	朝倉市		■	■	■	■	154		策定済	
		ストックマネジメント																		
										小計							616			
										合計							616			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
上下水道課で事後評価を実施	令和6年4月
	公表の方法
	市HPに掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	計画していた耐震補強工事実施率を0%から100%に向上することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
令和元年から令和5年度までの5年間で、耐震補強工事実施率のみ定量的指標を達成することができた。今後も定量的指標目標値に近づけるよう計画的に達成率向上に努めていきたい。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	改築工事実施率		
	最 終 目標値	28%	予算要望に対して配分額が少なく、予定を延期せざるをえなくなったため。
	最 終 実績値	16%	
2	耐震補強工事実施率		
	最 終 目標値	100%	目標達成
	最 終 実績値	100%	
3	管口カメラ調査実施率		
	最 終 目標値	44%	予算要望に対して配分額が少なく、予定を延期せざるをえなくなったため。
	最 終 実績値	40%	
4	下水道による都市浸水対策達成率		
	最 終 目標値	30%	予算要望に対して配分額が少なく、予定を延期せざるをえなくなったため。
	最 終 実績値	29%	
5	更新工事実施率		
	最 終 目標値	100%	予算要望に対して配分額が少なく、予定を延期せざるをえなくなったため。
	最 終 実績値	80%	